

## 基本施策5 読書活動の推進

### 具体的な施策1 発達段階に合わせた推進活動

取り組み		取り組み内容	担当	評価 (現状、課題、今後の方向性等)
家庭での読書活動	ブックスタートの推進	4か月児の保護者に「絵本」を贈り、ボランティアによる読み聞かせを行う。	図書館	健診会場で全ての4か月児に絵本を1冊贈っているが、現在は新型コロナウイルス蔓延防止のためボランティアによる読み聞かせは中止している。今後はボランティア育成を行い、乳児期からのコミュニケーションツールとしての絵本の重要性を伝えていきたい。
	おはなし会の実施	赤ちゃん向けの絵本の読み聞かせや、年齢に合わせた絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。	図書館	未就学児向けと赤ちゃんとその保護者向けの2種のおはなし会を毎週開催している。今後も継続して行う。
	読書活動の啓発	乳幼児期における読書活動の影響や効果について情報を提供するとともに、読み聞かせなどの家庭内での取り組みが読書活動において大切な役割であることを啓発する。	図書館 子育て広場	おはなし会、ブックスタート等の取り組みを通じ、乳幼児期の読書活動の重要性について啓発を行っている。今後は保護者向けセミナーなども積極的に行う。 (図書館) 現状として、おやこ広場で行っている読み聞かせを通じて、読書活動に関する情報提供を行い、家庭内における読み聞かせなどの読書活動が大切な役割を果たすことを啓発している。 課題として、新型コロナの影響で絵本の貸出ができないため、家庭内でおやこ広場で興味を持ってもらった絵本を使った読み聞かせができない。 方向性として、引き続き、感受性や想像力の向上など読書活動の影響や効果を伝えながら、家庭内での読書活動の役割を啓発していく。(子育て応援課)

取り組み	取り組み内容	担当	評価 (現状、課題、今後の方向性等)
	学校図書館地域開放事業の促進	生涯学習課	<p>現状として、3校の学校図書室地域開放事業を行っており、令和4年度には、新たに1校の開放を行った。</p> <p>課題として、運営の担い手の確保が必要となるが、高齢化や地域のつながりの希薄化により担い手が不足している。</p> <p>今後の方向性として、子どもが安心して生活できる休日の居場所づくりは必要不可欠であるため、学校・地域と連携しながら、開放校や開設日数の増を目指すとともに内容の充実に努める。</p>
就学前施設での読書活動	絵本読み聞かせの充実	図書館 各小学校	<p>読み聞かせやブックトーク、ビブリオバトル等の読書啓発の取り組みについて、学校支援の一環として学校へ赴き指導を行った。図書館の柱となるサービスのひとつであるため、継続するとともに活動の範囲を拡大していく。(図書館)</p> <p>現状として、入学を控えた児童に対し、小学校図書館での小学校教員による読み聞かせをする機会はなく、学校図書館においては、読み聞かせは学校図書館司書が行う場合が多い。</p> <p>課題として、就学前施設の児童が小学校を訪問する機会は増えているが、まだ小学校図書館を訪れることが多くはない現状がある。</p> <p>今後の方向性として、学校図書館を利用して就学前施設の児童の読書活動を推進するために、地域開放の機会を増やし、地域人材や司書による読み聞かせを行うことが有効と考えられる。(各小学校)</p>

取り組み		取り組み内容	担当	評価 (現状、課題、今後の方向性等)
就 学 前 施 設 で の 読 書 活 動	絵本の貸し出しの 推進	施設の絵本などを貸し出し、家 庭での読み聞かせを推進する。	幼稚園・保 育所・認定 こども園	コロナ禍により休止していた施設の絵本 の貸し出しを令和4年度から再開。図書 館の団体貸し出し制度も活用しながら、 家庭での読み聞かせの推進を行ってお り、今後も継続していく。
	読書機会の充実	施設の絵本や個人所有の絵本の 活用や、地域団体による「えほ んのひろば」の開催など、各年 齢に応じた絵本を選び、『言葉 の繰り返しによる言語の獲得』 『話す力や聞く力を養う』『情 緒豊かな心の育み』『子どもの 想像力を膨らませる』など、子 どもの内面も育てることを目的 とした絵本の読み聞かせを行 う。	幼稚園・保 育所・認定 こども園	地域団体による「えほんのひろば」の開 催や、外部から読み聞かせの先生を招 き、年齢に応じた読み聞かせを行って おり、今後も継続していく。
	地域に向けた読書 機会の整備	「体験入園」「親子で遊ぼう 会」「マイ保育所」「園庭開 放」の開催時に、絵本の読み聞 かせや絵本の貸し出しを行う。	幼稚園・保 育所・認定 こども園	親子で遊ぼう会等、未就園児対象の行事 の際に読み聞かせを実施しており、今後 も継続していく。
図書館司書による 読み聞かせの充実	「図書の時間」を活用して児童 へ読み聞かせを行う。	各小中学校	現状として、3年生以上の「図書の時 間」については、読み聞かせも行ってい るが、図書館を優先的に利用できる時間 として調べ学習をしたり、言語活動を行 ったりしているため、読み聞かせは毎 時間の実施ではない。低学年児童への読 み聞かせは、教室で、担任や高学年児童 が行っている場合も多い。 課題として、「図書の時間」につい ては、新しい学習の開始時に関連する内 容のブックトークをするなどの活動が必要 とされており、読み聞かせとのバランス が大切である。 今後の方向性として、読み聞かせだけ でなく、ブックトーク、読書が好きにな るように導く活動を充実させたいと考 える。	

取り組み	取り組み内容	担当	評価 (現状、課題、今後の方向性等)
学校図書館を活用した調べ学習の推進	総合的な学習の時間をはじめとした各教科での調べ学習を学校図書館で行う。また、学校図書館からテーマの本一式を教室に移し、教室で調べ学習を行う。	各小中学校	現状として、学校図書館を活用した調べ学習は全校で実施できている。 課題として、資料となる本が古く、更新が急務である。 今後の方向性として、調べ学習だけでなく、授業で本を活用する機会が増えているため、各校が自館のみで資料を充実させるのは現実的ではなく、各校が互いの資料を交流するシステムを確立し、お互いの資料を有効活用する必要がある。
空き時間を活用した学校図書館の利用促進	大休憩や昼休憩を活用して、図書館司書による貸し出し・返却を行う。また、休日には学校図書館を地域に開放し、閲覧を行う。	各小中学校	現状として、学校図書館司書の出勤時間が増えたことから、大休憩や昼休憩に学校図書館司書が貸し出し・返却作業を行うことが可能となった。
小・中学校での読書活動 始業前の朝読書の促進	朝の会の前に朝読書の時間を設け、全校で読書を行う。	各小中学校	現状として、朝読書を行っているのは小学校で7校、週1日が6校、週2日が1校である。中学校は全校で行い、週3回が1校、週4日が1校、毎日が1校である。課題として、朝読書を行う場合、教員も含めて全校一斉に行うことが重要だが、教員の打ち合わせ等が優先されている場合もある。 今後の方向性として、学校ごとのカリキュラムマネジメントにより、朝の時間は読書以外の活動も推進したいと考えている学校もあるため、朝読書にこだわらず、読書の機会を増やしていくようにしたい。

取り組み	取り組み内容	担当	評価 (現状、課題、今後の方向性等)
小・中学校での読書活動 読書感想文コンクールへの出品促進	夏休みなどに募集されるコンクールへの応募を促進する。また、国語・総合的な学習の時間などを活用し、読書感想文コンテストなどの取組みを検討する。	各小中学校	現状として、各校から読書感想文コンクールへ代表者の作品を出品している。課題として、読書感想文を書くために読書をするのは、読書のきっかけの1つであり、読書活動を推進するとは言い難い。今後の方向性として、読書感想文コンクールへの出品は任意であるが、読書感想文を書くためのプロセス等、過程を大切にし、出品を促していく。
学校への貸し出し拡充	図書館所蔵の本を各学校の要望に応じて貸し出す。テーマを決めて、学級文庫にふさわしい本を学校ごとに月ごとにローテーションを行う。	図書館 各小中学校	現状として、各校の要望に応じて、図書館所蔵の本が貸し出されている。課題として、本を運ぶシステムが整備されれば、より頻繁に本の貸し出しができるものと考えられる。今後の方向性として、さらに活用を進めていきたい。
本の紹介コーナーの充実	学校図書館や廊下に図書委員や図書部の児童生徒が、本の紹介を掲示する。また、図書だよりに本の紹介コーナーを掲載する。	各小中学校	現状として、図書委員や図書部の児童生徒、学校図書館司書や教員の進める本の紹介コーナーが各校に設置されている。課題として、児童生徒数の減少から、図書部は縮小の方向にある。今後の方針として、学校図書館司書によるコーナーの充実を図りたい。
校内でのビブリオバトル（知的書評合戦）の実施に向けた調査研究の促進	本の内容を語り合い、読書の魅力を発信することで、多くの人に興味を持ってもらうとともに、内容を伝えるための表現力に影響を与える、知的書評合戦の実施に向けての調査や研究を進める。	各小中学校	現状として、各校でビブリオバトル、もしくはそれに準じる活動を行っている。課題として、教育課程への位置づけ、評価の方法等、計画的に進める必要がある。今後の方向性として、各校のチャンピオン本をHPで紹介するなど、ビブリオバトルにより、読書への興味につなげる活動を推進したい。

取り組み	取り組み内容	担当	評価 (現状、課題、今後の方向性等)
図書館での読書活動	仲よし学級指導員研修の充実	各小中学校	現状として、仲よし学級の指導員に対する読書に関する研修は実施できていない。 課題として、各校において、教員による研修実施は難しく、学校図書館司書も、勤務時間が仲よし学級指導員と重ならないため、指導が難しい。 今後の方向性として、公共図書館による研修の機会などを活用していきたい。
図書館での読書活動	ブックスタートの推進	図書館 (再掲)	
図書館での読書活動	おはなし会の実施	図書館 (再掲)	
図書館での読書活動	読書活動の啓発	図書館 (再掲)	
図書館での読書活動	図書館イベントの実施	図書館	人形劇や科学イベント、環境問題への理解を深める工作イベント等を館内で開催。本に親しみ、学びに繋げる場を設けることによって子どもたちの図書館利用を促進している。今後も体験と本との出会いをセットにしたイベントを企画していく。
図書館での読書活動	リサイクルイベントの開催	図書館	リサイクルイベントを開催し、たくさんの参加者に廃棄対象の本をお渡しした。それに伴い多くの市民に図書館利用を促した。今後も年1回開催する予定である。

取り組み		取り組み内容	担当	評価 (現状、課題、今後の方向性等)
図書館での読書活動	ブックフェアの開催	本を選ぶ参考になるよう、季節やイベントに沿ったテーマで図書を集めたコーナーを設置する。	図書館	児童(月1回2テーマ)・ビジネス(年6回・3テーマ)・季節(月1回・5テーマ)の3種の展示コーナーを設置し、来館者の本選びに貢献している。今後も子供たちが必要とする情報と出会えるようなテーマでの展示を心がける。
	イベントと連動した書籍の案内	書籍を身近に感じてもらうために、市が開催する文化フォーラムなどのイベントと連動した書籍コーナーを開設する。	図書館	様々なイベントを開催し、その都度関係書籍を紹介することによって、参加者が書籍を身近に感じられる工夫を行っている。今後はビブリオバトルやディベートなど、資料そのものを使った企画を開催する。
	レファレンス機能の強化	多様な書籍に興味を持ってもらうために、気軽に読書に関する相談ができ、読みたい本に出会えるよう、レファレンス機能を強化する。	図書館	子どもたちからの様々な質問に回答できるよう、調べ学習にも利用できるレファレンス資料を購入し、機能の強化を図った。また小学生の指導要領に新しく入った「がん」の情報や、中高生の指導要領に入った「ビジネス」についての専門的な資料を充実させ、最新の情報を提供できるよう努めている。
	年齢層別書籍コーナーの整備	図書館で、各年齢層で読みたい本に出会えるよう、書籍の並び替えや、児童コーナーやヤングアダルトコーナーなど、年齢別の書籍コーナーを設置する。	図書館	児童コーナーやYAコーナー、赤ちゃん用の絵本コーナーなどを設置。様々な年代のニーズに応じている。今後も「新鮮な本棚」を目指し、子供たちの知的好奇心を刺激するコーナー作りを行う。
	読書の日でのPR	図書館を身近な施設に感じてもらうため、4月23日「子ども読書の日」に、毎年おすすめ絵本や児童書を紹介するブックリストの配布や、OSAKA PAGE ONE(毎月第1土日)キャンペーンに連動したイベントを開催する。	図書館	図書館員が選定したおすすめ絵本、児童書をホームページに掲載している。また毎週土日にイベントを開催するなどして図書館利用促進を図っている。今後も子ども読書の日周辺は集中的にイベントを開催するなど来館のきっかけづくりに努める。